

動物に関わる仕事

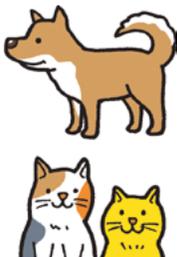
取材・文/伊藤敬太郎 イラスト/桔川伸

獣医師、トリマー、飼育員、畜産技術者など動物と触れ合うさまざまな仕事を紹介

動物が大好き! 将来は動物に関わる仕事がしたい! という高校生に向けて、ペット産業、動物病院、動物園・水族館、酪農・畜産それぞれのジャンルでどのような仕事があるのかをまとめて紹介。なるために必要な知識・技術や資格、それらを身につけるためのステップについても解説する。

ドルフィントレーナー

水族館でイルカの飼育やイルカショーのための調教、ショーの実演などを担当する仕事。なるためには大学で海洋学や獣医学などを学ぶ他、専門学校のドルフィントレーナー養成に特化したコースで学ぶ道も。



ドッグトレーナー

ペット犬を仕上げ、人と犬が楽しく暮らせるようサポートする専門家。犬を預かり、無駄吠えの防止やトイレトレーニングなどをする他、飼い主へのアドバイスも行う。専門学校で技術を学べる。

ペットショップ・ペットホテルスタッフ

どちらもペットの食事の世話や健康管理、トリミング、接客などを行う。ペットの種類が増えているため、幅広い犬種・猫種やその習性などに関する知識が必要。トリマー資格を活かして働く人も。

ブリーダー

犬や猫の交配や出産、飼育を手がけ、ペットショップなどに販売する仕事。資格は特にないが、動物の販売・保管・貸出・訓練・展示を営利目的で行う場合は、「第一種動物取扱業」の登録が必要。

世界中の動物や海洋生物を扱う動物園や水族館は動物好きにとっては憧れの就職先。最近は展示方法を工夫する施設が増えており、アイデア豊富な人材も求められている。



動物園・水族館



ペット産業

動物飼育員

動物園や水族館で、動物や海洋生物を飼育する仕事。大学や短大、専門学校で獣医学や動物の飼育に関する学科・コースなどで学ぶのが王道のステップ。獣医師や学芸員の資格を取得して飼育員になる人も。



トリマー

犬や猫などの毛や皮膚、爪の手入れをするペット専門の美容師。飼い主にペットの健康管理やしつけ、手入れのアドバイスをすることも仕事のひとつ。大学・短大・専門学校などで資格を取得できる。

酪農家・畜産農家

酪農家とは乳牛を飼育し、乳製品の原料となる生乳を生産する仕事。畜産農家は、肉や皮、卵を得るために牛や豚、鶏などを飼育する仕事全般を指す。畜産学系の大学や専門学校で専門知識・技術を習得できる。



酪農・畜産



動物病院

畜産技術者

全国の畜産試験場や家畜保健衛生所、民間企業などに勤務し、品種改良や医療技術、飼育設備などの研究を行う。酪農家や畜産農家をサポートする重要な仕事。畜産学系・獣医学系の大学などで学ぶのが王道。

レンジャー(自然保護官)

国立公園の自然環境を守る環境省の職員。国立公園内でのホテルや道路施設などの開発許可申請の審査や、利用者への自然保護の解説、野生動物の保護などが主な仕事。なるためには国家公務員試験合格が必須だ。

獣医学・畜産学研究者

大学や研究機関などで獣医学・畜産学に関する研究に携わる。獣医学研究者は、トリインフルエンザなど動物特有の疫病やウイルスの研究などが注目されている。獣医学・畜産学系の大学で学ぶのが王道のステップ。



動物看護師

動物病院などで、獣医師が動物の病気・ケガを診察・治療する際のサポートをする仕事。現時点では資格は必須ではないが、愛玩動物看護師(仮称)という国家資格の創設に向けた動きが進んでいる。

牛乳の消費量の減少や、食用肉の輸入の増加などもあって、国内の酪農・畜産業界は全体としては縮小傾向。一方で、ブランド牛など品質を追求する動きが進んでいる。



最新の業界事情

ペットビジネスは1.5兆円市場!

矢野経済研究所の調査によると、ペットフードやペット用品、ペット関連サービスなども合わせたペットビジネスの市場規模は1兆5422億円(2018年度見込み)。年々少しずつ成長を続けている有望業界だ。ただし、犬・猫の飼育頭数をみると全体では減少傾向。それでも市場が拡大している背景には、ペットを大切な家族と考えて手厚くケアする飼い主の増加が挙げられる。ペット保険、ペットホテル、老犬ホーム、ペット向け健康食品・サプリなど、商品、サービスも多様化・高品質化が進んでいる。

小学校4年生の時に犬を飼い始めて以来、犬・猫に囲まれた生活を続けてきて、自然と動物が好きになつていった工藤さん。高校卒業後は動物の飼育員を目指して専門学校へ。専門学校卒業時には、犬・猫と触れ合える動物看護師に目標を切り替えて動物病院に就職した。資格は必須ではなかったが、あったほうが専門知識の証明になる。工藤さんは、2つ目の動物病院に就職する前に約1カ月集中的に学んで、動物看護師統一認定試験に合格。現在は経験と専門性を活かし、エルムス動物医療センター八幡山院で動物看護師として活躍している。

高校を卒業したら、動物看護師が学べる大学、短大、専門学校に進学するのが王道のステップ。なお、動物看護師は国家資格化に向けた動きが進んでおり、新資格は「愛玩動物看護師(仮称)」となる予定。これから動物看護師を目指す人はこの資格を目標に学ぶことになりそうなので、法整備や学校の対応コース開設など、最新の情報をチェックしよう。

この職業に就くには

勤務形態は日勤と夜勤がある。日勤の場合は午前診察前の9時半からミーティング。その後は午前中から夕方にかけて診察や入院対応。複数の手術が入ることも多い。仕事を終えるのは19時ころ。

あとは飼い主様など人とのコミュニケーションも大切ですよ! エルムス動物医療センターは先進的な設備を備え、救急医療にも対応しているため、ヘルニアなど重篤な症状を患った動物が運ばれてくることが多い。日々好きな動物と接することができる楽しさもある一方で、命を扱う仕事としての覚悟も必要な仕事だと工藤さんは語る。

職種 PICK UP!!

動物看護師

エルムス動物医療センター八幡山院 動物看護主任 工藤良さん(29歳)



茨城県出身。立正大学湘南高校(鳥根県)、東京動物専門学校(東京)卒業。専門学校卒業後、千葉県の動物病院に動物看護師として就職。その後もう一つの動物病院を経て、26歳でエルムス動物医療センターらばーと柏の業院に転職。昨年から八幡山院に異動。

一頭一頭の違いを意識したケアを実践